

仏教とお寺をやさしく解説

さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2011年1月
第5号
(年2回発行)

新年号

発行部数3千部



「今年を振り返り」／丹羽義昭住職インタビュー
シリーズ浄土宗／浄土宗のご本尊は？
実践教室／念珠の使い方
仏事相談／サンスクリット語はこの言葉？

新春インタビュー 「今年を振り返り…」

二十二年も終わりに近づきました。今年はどうな一年だったでしょうか？

西願寺も五月には落慶法要と晋山式が執り行われ第三十二世として新たに丹羽義昭師が住職となられました。一年を振り返り、また、新年を迎えるにあたってご住職にお話しを伺いました。



丹羽義昭住職

問 よく言うことですが本当にあつという間に年末ですね。今年
は西願寺、また、ご住職にとつてどのような年でしたか？

住職 そうですね。西願寺は五月に落慶法要を終え本堂や庫裡などが新しくなった事と私も住職に就任し変化の一年だったと思います。

本堂が新しくなったことは、法要の際にお檀家の皆さんにも喜んでいただけているんです。

問 本堂を利用してイベントを開催したそうですね？

住職 はい。十月に「第一回十三夜お月見コンサート」としてソプラノ歌手の河内紀恵さん、フルート奏者の小川彩子さん、ピアノ演奏の中村麻里子さんに来ていただき、本堂の正面を開けて月を見ながらのコンサートを開きました。

問 趣きがあつて素敵ですね。お客さまはお檀家の方ですか？何名くらいの参加があつたのでしょうか？

住職 どなたでも参加できるようにしましたので地域の方も聴きにいらつしゃいましたよ。だいたい三十名位の方がいらしたと思います。司会は、施餓鬼会の時でもおなじみの三遊亭春馬師匠にお願いしました。

問 写真で拝見すると、皆さん楽しそうですね。お寺の本堂というのは音響もよいそうですね、音楽イベントなどに向いていますよね。年末年始はお寺での行事というのはあるのですか？

住職 うちの寺は梵鐘がないので大晦日の除夜の鐘付き会などはありませんが、お寺に皆さんが足を運んでいただける行事を考えていきたいと思っています。例えば、年が明けてからの七草粥の会とか節分など…。

問 ご住職はお正月をどのように過ごされるのですか？

住職 あまりいつもと変わらないですよ。元旦は修正会のお勤め

をして、二日はお寺の近くのお檀家さんのお宅へお札を持って挨拶へ回って…。

問 ご住職がお正月の挨拶に行かれるのですか!? めずらしいですよ。私たちがお寺にご挨拶に伺うことはあってもお寺さまがわざわざ挨拶に来てくださるなんてあまり聞かないと思うのですが。

住職 暮れから正月にかけて除夜の鐘付きなど皆さんがお寺に足を運んでくださる行事がありませんでしたので、できるだけお檀家さんと顔を合わせるように私が高校生くらいの時から始めたのです。

でも、住職になつてしまうとそうそう寺を空けられませんかので今後は別の方法も考えないといけないかもしれません。

問 お寺との関わりに躊躇されている方も行事の開催などお寺から手を差し伸べてくださるとぐっと



十三夜お月見コンサート

三遊亭春馬師匠



身近に感じるのではないのでしょうか。この頃は、癒しを求めているの仏像巡りや寺社巡りなども人気のようですし…。

住職 そうですね。今、生きている人の生きる為の心の拠りどころが仏教で、そのために集える場所がお寺だと考えておりますので、多くの皆さんにお寺に足を運んで頂き、ご本尊（阿弥陀さま）をお参りして頂けると良いと思います。

問 そのきっかけ作りが先日のお月見コンサートであったり、計画中の七草粥の会や節分などのイベントなんですね?

住職 はい。お墓参りにいらした時も、まず本堂の阿弥陀さまをお参りしてくださいね。亡くなった方は、お墓に住



十三夜お月見コンサート会場

んでいるのではなく阿弥陀さまのもとにいるのですから。

問 私たちはお墓参りに行くと、どうしてもご先祖さまも全てそこにいるように思ってしまうのですが…。なんだか少し前に流行った歌を思い出しますね（笑）。

住職 そう思わせてしまっているのは、我々が今までそういった教えに対する活動をしてこなかったことにも原因があるのだと思います。これからは、もっときちんとお寺としての役割を果たしていくことの責任を感じます。

問 お寺の事や仏教の事は、よく解らないから難しく感じてしまうのですが、お経に出てくる物語りなど知ってみると興味深く感じる事も沢山あるように思います。皆さんには、まずはお寺に来てみて欲しいですね。

住職 季節のイベントの他に、毎月二十五日に本堂でお念佛の会も開いておりますので、是非こちらにも気軽に来て頂きたいと思います。

問 新年は、ますます活気のある西願寺になりそうですね。本日は、ありがとうございました。

※別時念佛会の詳細は5pに掲載しています。

浄土宗の本尊は？

本尊とは、信仰の拠りどころとなる仏さまのことで宗派により異なりますが、浄土宗では阿弥陀如来を本尊とします。

浄土宗の寺院本堂では須弥壇の中央に阿弥陀如来を配置し、脇侍として向かって右側に観世音菩薩、

左側に勢至菩薩が祀られています。これを弥陀三尊と呼びます。



西願寺本堂 阿弥陀三尊

阿弥陀如来はどんな仏さま？

阿弥陀如来は極楽浄土を建立した仏さまです。

阿弥陀とはアミターユス（無量寿）、アミターバ（無量光）という梵語の音訳されたもので、限らない命を有し、無限の光をもつ仏という意味です。

「無量寿経」によると阿弥陀仏の出自はつぎのようなエピソードに基づいています。

大昔のインドに、ある国王がいた。彼は仏様の説法を聞き感懐し、自らも人々のために尽くしたいと決意して王位を捨て出家し法蔵比丘と名乗りました。

法蔵比丘は世の中すべての苦しみを救済できる世界を打ち立てたいと願い、限りなく長い徳行の末、四十八の誓願たてて西方十万億土の彼方に念願の浄土をつくりました。これがいわゆる極楽浄土です。この安楽世界で法蔵比丘は阿弥陀仏となりました。

弥陀三尊の脇侍、観世音菩薩と勢至菩薩

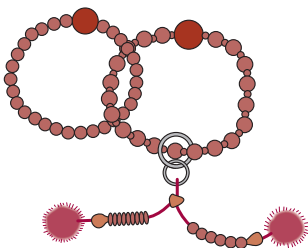
阿弥陀仏の向かって右に位置する観世音菩薩は「観音さま」や「観音菩薩」と呼ばれ私たちに馴染みの深い菩薩です。観音の「音」は人々の救いを求める音（声）でそれを観る、つまり聞き取るという意味です。

阿弥陀仏の向かって左側が勢至菩薩です。勢至菩薩は、智慧の光ですべてを照らし人々の迷いを取り除く菩薩といわれています。

それぞれの特徴として、観音菩薩は頭上の王冠に阿弥陀如来の化仏（小型の仏像）をつけ蓮華や水瓶を持つのが一般的です。また両手で蓮華をかたどった蓮台を持っているものもある。勢至菩薩は合掌した姿で造られるのが普通で宝冠には水瓶がついているのが特徴です。

浄土宗の数珠

浄土宗では数珠を念珠ともいい四種類のものを用途によって使いわけます。莊嚴数珠、日課数珠、一〇八数珠、百万遍数珠の四つですが、一般の檀信徒が使うのは日課数珠が一〇八数珠で、特にお勤めなどでは日課数珠が使われます。



日課数珠

日課数珠
日課数珠は、浄土宗独自のもので二つの数珠を組み合わせた二連の数珠で、となえた念仏の回数を数えられるような仕組みになっています。

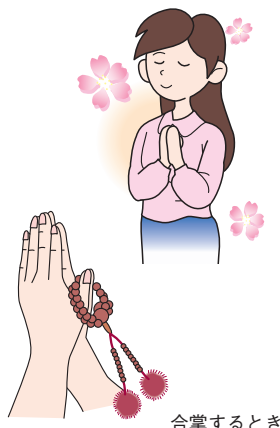
二連の数珠のうち一連は二七粒または五四粒がついた輪になっており、それに二〇粒あるいは四〇粒の輪が通っています。また、それに一〇玉と六玉の小玉がついた二本の房がついています。

日課数珠、三万遍念仏の数え方

たとえば、二七粒と二〇粒の輪が組み合わされた数珠の場合、二七粒の方で念仏一回ごとに操ります（二七回のうち息継ぎの空回りを二回として一周で二十五回のお念仏を唱えることとなります）、二〇粒では二七粒一周をひとつの単位とします。二五回×二〇で五〇〇回を単位に一〇玉の小玉で数え、またそれをさらに六玉で数えていくと最終的に二五回×二〇回×一〇回×六回＝三万回で三万遍念仏となるのです。

数珠の持ち方

合掌するときには二輪の数珠を両手の親指に掛け、房を前にたらしめます。お念仏を申し数珠を操るときには、人差し指と中指で数珠をはさんで人差し指と親指でもう一方の数珠を挟み、お念仏一回に一個ずつ操っていきます。



合掌するとき

暮らしの中の 仏教語

「くしゃみ」

くしゃみはしかたもそのスケールも人それぞれ。鼻から魂が抜け出すものが「くしゃみ」と考えられていた時代もあったとか…。

はっくしょーんと豪快にくしゃみが出たあとの虚脱感を思うとなんだかうなずけます。

狂言の中では「くっさめ、くっさめ」と表現されていますが、くしゃみをしたときに唱えるおまじないの「くさめ」からきているそうです。

この「くさめ」の言葉の出所には諸説あって、その内の一つに梵語のクサンメがあります。意味は「休息万病」（くそくまんびょう）身体を休めて長命を保つということです。

仏典に出ている話の中には、「ある時お釈迦さまがくしゃみすると、そばにいた弟子たちが「クサンメ」と唱え師の無病息災を祈った」とあるそうです。そんな光景を想像するとちよっぴり笑みがこぼれてしまいますね。



西願寺 別時念佛会のご案内

西願寺本堂にて毎月25日に念佛会を開いております。

こころの安らぎにもつながるお念佛を本堂で一緒にお唱えしませんか？

日時…毎月25日 18時より

場所…西願寺本堂

■参加申込について

事前にご連絡をお願いいたします。

当日でも大丈夫です

当日灯明料をご奉納願います

どうぞお気軽にお問い合わせください

●お問合せ…

西願寺 **048-925-1723**



平成23年 年回表

1周忌	平成22年逝去
3回忌	平成21年逝去
7回忌	平成17年逝去
13回忌	平成11年逝去
17回忌	平成7年逝去
23回忌	平成元年逝去
27回忌	昭和60年逝去
33回忌	昭和54年逝去
37回忌	昭和50年逝去
50回忌	昭和37年逝去
100回忌	明治45年逝去

年ごとの命日を祥月命日といい、年回にあたった年の、この日に行う法要が年回(年忌)法要です。この法要では亡くなった方とご縁のある方が集まり、故人を偲びながらお勤めします。

葬祭フェア開催

葬儀にまつわる様々なことをわかり易くご紹介します。是非足をお運びください。



日時 平成23年3月19日,20日

9:00~17:00

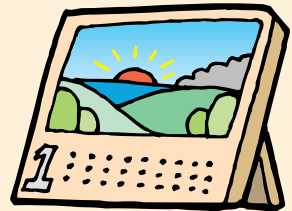
場所 彩の都メモリアルパーク

西願寺 平成23年 年間行事案内

- ※1月 1日(土) 修正会(新年をむかえての法要=おつとめ)
- ◎1月 7日(金) 開運七草粥の会(予定)
- ◎2月 3日(木) 節分会(予定)
- ※2月15日(火) 涅槃会(お釈迦さまの命日)
- ◎3月17日(木) 春の彼岸会
- ※4月 8日(金) 灌仏会(花まつり)
- ◎7月13日(水) お盆会(東京棚経)
- ◎8月13日(土) 旧盆会(地元棚経)
- ◎8月18日(木) 大施餓鬼会
- ◎9月20日(火)~26日(月) 秋の彼岸会
- ◎10月14日(金) 第2回 十三夜お月見コンサート(予定)
- ※11月23日(水) 十夜会(念仏をとなえて善根をつむ法要=おつとめ)
- ※12月8日(木) 成道会(お釈迦さまのお悟りの日)
- ※12月25日(日) 仏名会(念仏をとなえて一年を反省する法要=おつとめ)

◎印は予定をたてて是非ご参詣ください。

※印は現在、寺だけで自主的に行っている法要=おつとめです。



■永代供養塔 「光明苑」のご案内■

西願寺・彩の都メモリアルパークでは、永代供養塔「光明苑」を建立いたしました。

詳しくは、彩の都メモリアルパーク管理事務所までお問合せください。



お問い合わせ…

048-921-4194

■次号予告
次号は平成二十三年六月発行予定の「お盆号」です。

Mail : info@io-co.net

FAX 03 (32695) 1392

東京都千代田区飯田橋四・七・十一 カクタス飯田橋ビル7F

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんか」編集部

◆イオ株式会社

■お便り募集■
編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仕事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、どうぞお気軽にお寄せください。紙面でご紹介させて頂きたいと思っております。また、「さんか」についてのご感想もお待ちしております。

彩の都メモリアルパーク管理事務所 年末年始休業のお知らせ

◆年末年始休業日◆

平成22年12月28日(火)～

平成23年1月6日(木)

年末年始の休業期間は管理事務所における事務手続き、電話問い合わせなどの業務はおこなえません。

尚、墓所へのお参りは通常通り開門しておりますのでご自由にいらしてください。

Q & A



仏教関係の本などをみていると度々サンスクリット語と出てきますがこの言葉なんですか？

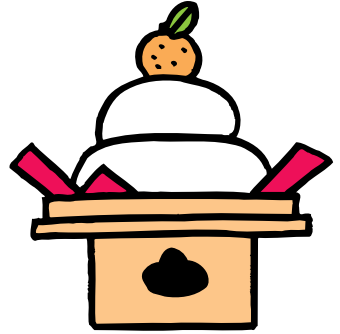


サンスクリット語は梵語ともいい古代インドの文章語なんです。紀元前10世紀頃から歴史に現れ、インドで話される諸言語の源流でもあります。南伝仏教のパーリー語とともに、仏教經典の原典はこれらの古代語で記述されています。日本には仏教を通じて「凡」「奈落」また「旦那」などもサンスクリット語の発音をそのまま音写しているそうです。そして、私たちが唱えるお念仏「南無阿弥陀仏」の言葉ももとはサンスクリット語なんです。

— 彩の都メモリアルパーク 管理料変更についてのお知らせ —

税制の変更により当霊園の管理料にも消費税が課税されることになりました。つきましては、誠に恐縮ですが平成23年分より消費税込みの管理料に変更させていただきます。何卒、事情をおくみとりいただき、ご理解賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

変更後の金額につきましては、改めてご案内させていただきます。



◆編集後記◆

皆さんにとって平成二十二年はどんな一年でしたか？年の初めに「今年の目標」を立てる方も多いのではないのでしょうか？そして年末に反省：したりして。もちろん私は毎年「今年こそ！」というタイプなので、今年も反省材料はたっぷりです。（自慢できませんよね）。

さて今号の「さんが」はいかがだったでしょうか？

4ページで取り上げた数珠の話では、浄土宗の独特の数珠の形を紹介しましたが、私自身も正しい使い方を今回初めて知りました。「なんて機能的！」と感動を覚えました。ところが、実際にお念仏を三万回や六万回を唱えたと考えると気が遠くなりそうですね。つまりそれくらいの気持をもつことが大切ということなのでしょう。

平成二十三年も皆さんに「なるほど！」と言っていただける楽しい紙面作りを心がけたいと思います。新年もどうぞ宜しくお願いします。

発行者

遊馬山一行院 西願寺

〒三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四二九五

企画・編集・製作

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんが」編集部